

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

令和7年度第2四半期(7～9月)の県内製造出荷数量は295,000トンとなり、前年同期の245,000トンを50,000トン上回って20.4%増となった。

地区別に見ると、上越地区は53,000トン(前年同期比+51.4%)、中越地区は97,000トン(同+18.3%)、下越地区は141,000トン(同+16.5%)と主要3地区が揃って前年実績を超え、特に上越地区の伸長が顕著だった。一方、佐渡地区は4,000トン(同-42.9%)にとどまり、現状の出荷量は工場維持の限界を下回っていることから、事業継続に深刻な影響が懸念される。

令和7年度第1～第2四半期累計では県全体で527,000トンとなり、地区別では上越地区96,000トン、中越地区179,000トン、下越地区245,000トン、佐渡地区7,000トンであった。令和6年度の四半期別推移は第1四半期203,000トン→第2四半期245,000トン→第3四半期309,000トン→第4四半期124,000トンだが、本年度は第1四半期の232,000トンに続いて第2四半期も295,000トンと力強い回復を示しているものの、令和5年度同時期とほぼ同等の水準となることから、全体として十分な製造余力を有していると判断できる。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和7年度7月～9月期の出荷状況は、県計では11万tで前年同期と比べ6%の減となった。地区別で見ると東部地区が5万5千tで23%の大幅減、西部地区が5万5千tで21%の増となった。

東部地区ではNEXCO工事関連の出荷は好調を維持しているが、県、市工事が少ない。西部地区では国道などの維持修繕工事が増加の要因と見られます。今後もNEXCO関連の出荷が見込まれる。県全体としても東部地区は県、市工事は期待が薄い。西部地区においては県、市工事の出荷が今後も見込まれる。

石川県

記事提供：石川県アスファルト合材協会

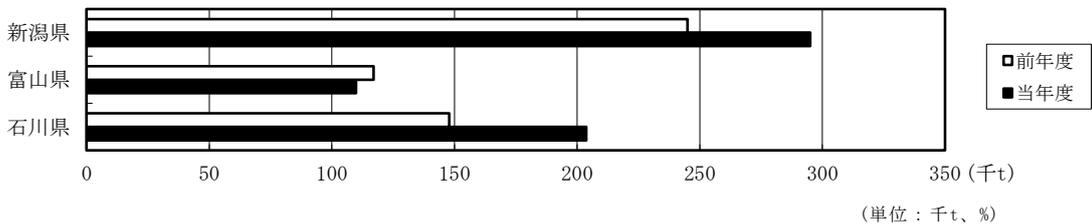
石川県における令和7年度7月～9月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比51.0%増、能登地区で前年比18.3%増、石川県全体では前年比37.8%増と昨年同時期に比べ加賀地区、能登地区共に増、石川県全体としても出荷量は増加した。

前期に引き続き能登地区では能登半島地震による道路復旧工事が、昼夜問わず行われている状況。又、能登地区プラントでは補えない出荷に関して、加賀地区プラントからも能登地区への合材供給を行っている状況。

主要材料であるアスファルト価格は、米中貿易摩擦やOPECの動向等、原油価格、為替相場共に不安要素が多く余談を許さない状況。

また今年度のアスファルト関連の物件について、昨年同様、能登地区は道路の復旧工事が中心となり供給増加が予想されるが加賀地区については不透明な状況である。

アスファルト合材出荷量の推移(7月～9月期)



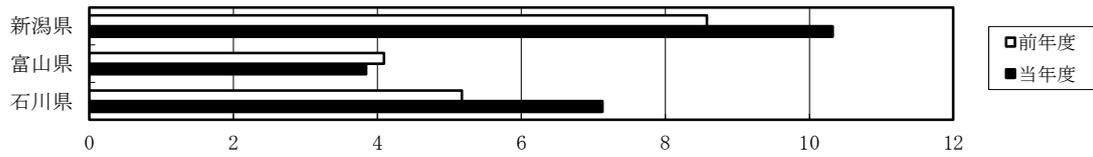
県	地区	令和6年度 年計	令和7年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲10 122	39 43	51 53			▲21 96
	中越	▲6 259	30 82	18 97			▲31 179
	下越	▲14 472	0 104	17 141			▲48 245
	佐渡	22 28	▲40 3	▲43 4			▲75 7
	県計	▲10 881	14 232	20 295			▲40 527
富山県	東部	8 247	6 64	▲23 55			▲52 120
	西部	8 189	7 59	21 55			▲40 113
	県計	4 437	7 123	▲6 110			▲47 233
石川県	加賀	0 371	30 112	51 133			245
	能登	0 233	7 56	18 71			127
	県計	0 604	21 168	38 204			372

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県 会員32社のうち32社 富山県 会員14社のうち14社 石川県 会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（7～9月期）



(単位：千t、%)

県	地区	令和6年度 年計	令和7年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲10 4.3	39 1.5	51 1.9			▲21 3.4
	中越	▲6 9.1	30 2.9	18 3.4			▲31 6.3
	下越	▲14 16.5	0 3.6	17 4.9			▲48 8.6
	佐渡	22 1.0	▲40 0.1	▲43 0.1			▲75 0.2
	県計	▲10 30.8	14 8.1	20 10.3			▲40 18.4
富山県	東部	▲16 8.0	6 2.1	17 2.5			8 8.7
	西部	▲11 6.2	24 1.9	0 1.6			8 6.6
	県計	▲14 14.6	4 4.0	9 4.1			4 15.3
石川県	加賀	0 13.0	30 3.9	51 4.7			0 8.6
	能登	0 8.1	7 2.0	18 2.5			0 4.4
	県計	0 21.1	21 5.9	38 7.1			0 13.0

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量(千t) = アスファルト合材量(千t) × 3.5%」